

らい 来ぶらり

図書館へ気軽にぶらりと来館していただきたいという思いで命名しました。

図書館を英語で「Library(ライブラリー)」といいます。

No. 114 3月号

2015年3月1日 発行

たつの市立図書館

龍野図書館 TEL(0791)62-0469

新宮図書館 TEL(0791)75-3332

揖保川図書館 TEL(0791)72-7666

御津図書館 TEL(079)322-1007

<http://www.city.tatsuno.lg.jp/library/index.html>



携帯専用サイトへは、
左のQRコードから
(<https://www.lib015.nexs-service.jp/tatsuno-city/mobile/index.do>)

読書と私 No.106

「本から広がる私の世界」

御津町 榎本 紗代

私は、昨年4月より、保育士の資格を取るため専門学校へ通い始めました。学校では、絵本やおはなしについて学ぶ時間があり、それをきっかけに、以来よく図書館を利用させていただいています。

初めて図書館に行った時、どうやって読みたい絵本を探しているのかもわからず悩んでいると、図書館の方が優しく声をかけてくださり、一緒に探してくれました。それが本当に嬉しくて、不安だった気持ちは消え、これからもここで読みたい本を借りようという期待に変わりました。そして、御津の図書館に無いものはいろんなところから取り寄せてくださったり、内容しかわからない本を調べてくださったり、こんな素晴らしい図書館が近くにあることを、本当に嬉しく感じています。

初めて借りたのは、大好きな絵本でした。それからいろんな絵本を読んでいくうちに、本の魅力を知りました。大人になった今読んでも、主人公の気持ちに同化しドキドキハラハラしたり、美しい絵と言葉に感動したり、とても素晴らしいものでした。

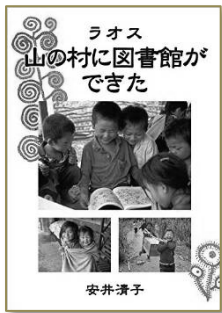
そして、今では絵本だけでなく、様々な種類の本を借り、楽しく読んでいます。本を通じて様々な人の考えを知ることができたり、実際には体験できないことを感じられたりして、今では寝る前に本を読む時間が、私にとって楽しみとなっています。

本を読み、知らない世界に触れ、喜びを感じ、その世界を自分のものにする事で、自らの心も豊かにしていけたらと思っています。



※『読書と私』は図書館の利用者に執筆していただいています。

『ラオス 山の村に図書館ができた』 安井 清子 著 福音館書店



本書は、モン族の住む東南アジア・ラオスのゲオバトゥ村に、子どもたちのための図書館をつくった日本人女性の奮闘記である。

劇団に就職した著者は、カンボジア難民キャンプで人形劇を公演した。国境の向こうから大砲の音が聞こえてくる緊迫した状況の中でも、劇を見つめる大勢の子どもたちのキラキラとした目が忘れられず、その後何度か訪れたゲオバトゥ村に図書館をつくることになる。

「箱モノ援助」に終わらせたくない著者は、ゲオバトゥ村に暮らし、村人たちと一緒に作業する。セメントやレンガなどではなく、村の上質な土や竹、藁を使い、日本の伝統工法である頑丈な土壁の図書館をつくっていく。また、同時に建設現場の横で子どもたちに絵本を見せたりお話をしたりしながら、図書館文化のない村

人たちに図書館の意義を伝えていく。木材の到着が遅れたり、農繁期には工事を中断したりと順調とは言えなかったが、何とか期限内に完成にこぎつけた。

子どもたちは学校が終わると、水汲みや薪取り、家畜の世話など仕事があり忙しいが、そんな中、時間を見つけて図書館へやってくる。「心に蓄えられた物語が勇気や力となり、そこで過ごす時間を豊かなものにしてくれるに違いない」と著者は考える。

現在も村を訪れ、本を提供するだけでなく、モン族の民話を継承する活動にも関わっている著者の想いに魅了される。また、村の風習や子どもたちの笑顔あふれる写真が多数収録され、その表情は図書館ができた喜びを伝えている。図書館の存在意義や物語の持つ力を改めて感じさせてくれる1冊である。

(新宮図書館 井口)

トピックス

講演会 「御津の歴史散歩」

『播磨国風土記』に“御津”という地名が記されてから1300年もの時が過ぎました。御津地域を中心に、古代から綿々と受け継がれてきた地名の由来や伝説を紹介します。

日時：3月22日(日)
14時～15時30分

場所：御津図書館

講師：埴岡 真弓 氏

(播磨学研究所研究員)

対象：一般(中学生以上)

定員：40名(先着順)

申込：御津図書館(電話可)



揖保川図書館所蔵のDVD 貸出開始

3月1日(日)より、揖保川図書館での館内視聴に限定していたDVDの貸出を始めます。

※著作権の利用範囲が館内利用に限られているものは、従来通り貸出できません。

「世界の車窓から 世界一周鉄道の旅」10巻

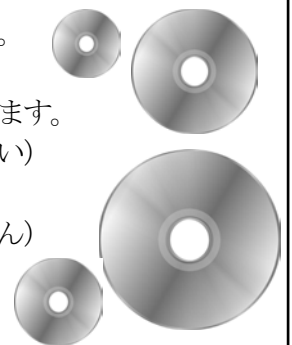
「その時歴史が動いた」10巻

「大自然の驚異」9巻

「古典落語名作選」5巻

など、教養的なもの約400本

- ・貸出数は1人10本までです。(本・雑誌などを含めます)
- ・返却は必ず窓口までお願いします。(ポストにいれないでください)
- ・予約できます。(購入リクエストはできません)



おすすめする子どもの本・106

『ねこのオーランドー』 キャスリーン・ヘイル作・画 脇明子 訳 福音館書店

オーランドーは、マーマレードにはいつているオレンジの皮そっくりなしまもようと、緑色の目をしたきれいなねこです。

ご主人にお休みをもらったオーランドーは、おくさんのグレイスと3匹のこねこを連れてキャンプに出かけました。

川のそばで気持ちのいい場所を見つけ、テントを張り、お茶をしたり、あやとりをしたり、虹を追いかけていたりしているうちに夜になりました。

こねこたちはテントで寝るのがおもしろく、なかなか眠ろうとしませんが、グレイスに子守歌を歌ってもらいようやく眠りにつきました。

次の朝、オーランドーは川へ行ってはらばいになって顔をつきだし、ひげのさきがちょっとだけ水にさわるようにしました。そして、ひげを蚊だと勘違いして食いついた魚を素早くすくいあげ、持って帰った魚をグレイスに焼いてもらいました。

朝ごはんがすむとお弁当を作り、リュックサックを背負ってハイキングに出かけました。行く途中の川で泳いだ後にお弁当を食べ、景色のいい山のとっぺんに着きました。

キャンプに来て、楽しんでいるねこたちの様子や、自然の風景がのびのびと色鮮やかに描かれた大型絵本です。

同じくオーランドーを主人公にした本に『ねこのオーランドー農場をかう』『ねこのオーランドー海へいく』があります。

読んであげるなら5歳くらいから。

(御津図書館 山本)

『おそうじをおぼえながらないリスのゲルランゲ』

J・ロッシュ＝マゾン 作 山口智子 訳 福音館書店

ブナ林の中に11匹の子リスとおばあさんリスが住んでいました。子リスたちは、夕ごはんのあと、片付けやおそうじをしますが、一番小さいリスのゲルランゲだけは、そうじが嫌いでいつも怠けていました。ふさふさで、立派な赤毛のしっぽをそうじで傷めなくなかったからです。おばあさんは、しっぽを手入れする方法を教えますがゲルランゲは、そうじをおぼえようとしません。とうとう、おばあさんと兄さんたちは怒ってしまい、ゲルランゲは家を追い出されてしまいます。「ぼく、ごはんなんかいらぬ。野宿をしたっていい。オオカミに食べられたっていい。でも、ぼく、おそうじはおぼえたくないや。」と言って出て行きます。家出をしたゲルランゲは、オオカミに捕まってしまう。オオカミは、国で一番偉い自分が、何も出来ないリスを食べるわけにいかぬと言ってゲルランゲを教育しよう

とあちこち駆け回り、食べ物を集め、家も作ってやります。それでも、ゲルランゲは、おそうじをおぼえようとしません。キツネ、アナグマ、フクロウなど森に住んでいる仲間を巻き込み、大騒動になります。オオカミにしっぽをくわえられたられたまま、再びおばあさんたちのいる家に戻ってきたゲルランゲは、知恵を働かせたおばあさんによって助けられます。そして意地っ張りのゲルランゲが、おばあさんを喜ばせるため、やっとおそうじをおぼえることを決意します。小さなリスに翻弄されるオオカミの様子が、ユーモアたっぷりに描かれています。

続編に『けっこんをしたがらないリスのゲルランゲ』があります。読んでもらえば5歳から。

(龍野図書館 河部)



各館の行事予定

※詳細は各館へお問い合わせください。

館名	行事	対象(上段) ・ 時間(下段)	3月の予定
龍野図書館 TEL(0791) 62-0469	●えほんのじかん	1～3歳児、保護者 ----- 第1・第2土曜日(11時～11時20分)	7日・14日 『ぱんだいすき』他
	子どもの本を読む会	一般 ----- 第2木曜日(10時～11時30分)	12日 『銀のスケート』 M. M. ドッジ 著
	読書会	一般 ----- 第2金曜日(10時～11時30分)	13日 『番犬は庭を守る』 岩井 俊二 著
新宮図書館 TEL(0791) 75-3332	●えほんのじかん	2～4歳児、保護者 ----- 第2・第4月曜日、第3日曜日(11時～11時20分)	9日・15日・23日 『びりびり やぶいたら』他
	■おはなしのじかん	5歳児～ ----- 土曜日(10時15分～10時45分)	7日・14日・28日 「十二のつきのおくりもの」他
揖保川図書館 TEL(0791) 72-7666	●えほんのじかん	3～5歳児、保護者 ----- 第2・第3土曜日(10時30分～10時50分)	14日・21日 『もりのなか』他
	■おはなしのじかん	小学生以上 ----- 第2・第3土曜日(11時～11時30分)	14日・21日 「くわずにようぼう」他
	読書会	一般 ----- 第3金曜日(10時～12時)	20日 『津田梅子』 大庭 みな子 著
御津図書館 TEL(079) 322-1007	●えほんのじかん	0歳児～、保護者 ----- 第2・第3日曜日(11時～11時20分)	8日・15日 『はなをくんくん』他
	読書会	一般 ----- 第2火曜日(13時30分～15時30分)	10日 『晴れた日は図書館へいこう』 緑川 聖司 著
	古文書を読む会	一般 ----- 第2土曜日(13時30分～15時30分)	14日 古文書の解説